

**製品名: KAT1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe01475**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.64mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 50 kDa; Observed MW: 45 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HAT1
別名	hat1; KAT1
遺伝子 ID	8520
SwissProt ID	O14929
免疫原	ヒト KAT1 の組み換えタンパク質

**背景**

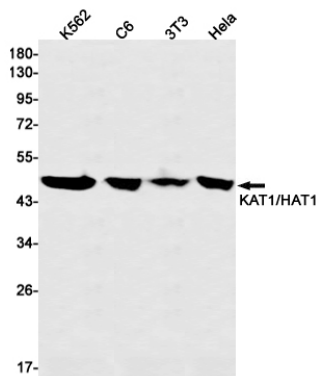
可溶性ヒストン H4 の「Lys-5」 (H4K5ac) および「Lys-12」 (H4K12ac) をアセチル化するが、ヌクレオソームヒストン H4 はア

セチル化しない。また、程度は低いですが、ヒストン H2A の「Lys-5」 (H2AK5ac) もアセチル化する。認識配列 GXGKXG のリジンを修飾する固有の基質特異性を持つ。

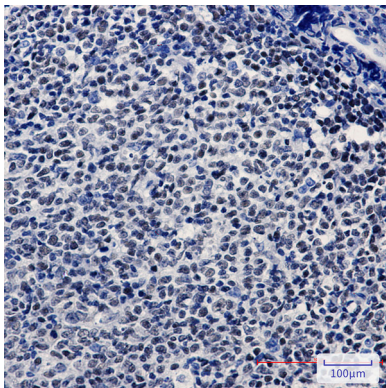
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



KAT1 抗体を使用した K562、C6、3T3、Hela 溶解物中の KAT1/HAT1 のウエスタンブロット分析。



KAT1/HAT1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。